

BX

文化シャッター

文化シャッター株式会社

東京都文京区西片1丁目17-3 〒113-8535

お客様相談室

☎ 0570-666-670 （ナビダイヤル有料）
03-5844-7111 （IP電話・海外からのご利用）

www.bunka-s.co.jp

■製品保証

保証期間

施工業者よりの引渡し日（注1、注2）から1年間または5万回開閉のどちらかが先に経過する時点まで。
（注1）改修工事の場合は、改修部分の工事完了の日とします。
（注2）分譲住宅（建売住宅）・分譲マンションの場合は、建築主様への引渡し日とします。

保証内容

取扱説明書、ラベルその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項に該当する場合を除き、無料修理いたします。ただし、遠隔地や離島への出張修理の場合は交通に要する実費をいただく場合もあります。

なお、強風時に雨水が浸入することがありますが、この製品上の特性であり不具合ではありません。

免責事項

- ①天災その他の不可抗力（例えば、暴風、豪雨、高潮、津波、地震、噴火、落雷、洪水、地盤沈下、火災など）による不具合、またはこれらによって製品の性能を超える事態が発生した場合の不具合
 - ②製品または部品の経年変化（使用にともなう消耗、摩耗、木製品のそり、干割れ等）や経年劣化（樹脂部分の変質、変色など）、またはこれらにともなう錆、かび、またはその他の不具合
 - ③製品周辺の自然環境、住環境などに起因する結露、腐食、またはその他の不具合（例えば、塩害による腐食。大気中の砂塵、煤煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガスなどが付着して起きる腐食。異常な高温・低温・多湿による不具合など）
 - ④自然現象や使用環境に起因する不具合（例えば、結露・凍結、風による振動・共鳴音など）
 - ⑤表示された製品の性能を超えた性能を必要とする場所に取り付けられた場合の不具合（例えば、カタログなどに記載された耐風圧以上の風圧に起因するものなど）
 - ⑥建築躯体の変形など、製品以外に起因する製品の不具合
 - ⑦本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合、または使用目的と異なる使用方法による場合の不具合
 - ⑧当社の手配によらない加工、組立、施工（基礎工事、取付け工事、シーリング工事など）、管理、メンテナンスなどに起因する不具合（例えば、海砂や結晶材を使用したモルタルによる腐食、中性洗剤以外のクリーニング剤を使用した事による変色や腐食、工事中の養生不良による変色、腐食など）
 - ⑨お客様自身の組立て、取付け、修理、改造（必要部分の取外しを含む）に起因する不具合
 - ⑩引渡し後の操作誤り、整備不良、または適切な維持管理を行わなかったことによる不具合
 - ⑪使用にともなう接触部分の摩耗・傷・塗装のはがれや時間経過による塗装の退色、樹脂部品の変質・変色、めっきの劣化、またはこれらにともなう錆などの不具合
 - ⑫施工当時実用化されていた科学や技術、知識では予測することが不可能な現象、またはこれが原因で生じた不具合
 - ⑬犬、猫、鳥、ネズミ、昆虫、ゴキブリ、クモなどの小動物、またはつるや根などの植物に起因する不具合
 - ⑭機能上支障のない音、振動など感覚的現象
 - ⑮犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合
- ※保証期間経過後の修理、交換などは、有料とします。
※本記載によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理、その他についてご不明な場合は、最寄りの当社支店・営業所にお問い合わせください。

■定期点検契約のおすすめ

末永く、安全にお使いいただくためには、定期点検と定期的な部品交換が必要です。定期点検契約をむすんでいただくことにより、専門家による点検と保守を行います。動作状態のチェックと給油、消耗部品の交換などを定期的に実施し、正常に働くよう入念に調整いたします。点検の記録は当社に保管し、お客様にそのつど報告いたします。機能低下や不慮の事故を防ぐ定期点検契約は、必要不可欠な製品の一部です。

■腐食が進みやすい環境での点検のお願い

沿岸地区などの自然環境、高湿な使用環境などの腐食が進みやすい環境では、1年に2～4回程度の点検が必要です（回数は状況により異なります）。点検により注油や部品交換など腐食への早期対応を行うことで、錆などによる「開閉機とシャフトを繋ぐローラーチェーンが破断しスラットの急速降下へ至る」といった事故を防ぎます。点検作業には専門知識が必要になりますので、下記の文化シャッターサービス株式会社までご依頼ください。

修理・点検に関するお問い合わせは

☎ 0120-365-113

365日いいサービス

アットタイムサービスシステム

ATSS

突然のシャッターや窓シャッターの故障。
そんな時は、文化シャッターサービス(株)のATSS＝アットタイムサービスシステムをご利用ください。フリーダイヤルひとつで365日素早く対応いたします。

No.697 初 版CA1004-8M1'11・08
第4版CA1004-5M1'19・04

ご用命は

■お手入れ方法

●スチール、ステンレス、アルミ製品共通

- ・雨などにより、泥、ほこりなどが付着しますと錆の発生を早め、美観上からも好ましくありません。
- ・製品が汚れた場合は、ぬれた布などで汚れを落とした後、固く絞った布などで水分をふきとってください。
- ・水洗いで落ちない汚れは、ぬるま湯で薄めた中性洗剤を使用したのち、水洗いし、最後に乾いた布で水分を拭き取ってください。
- ・なお、強風の際（特に台風の場合）は、塩分が内陸部まで飛来することがあるので、風が収まった後、できるだけ早い時期の清掃が必要です。

（注意事項）

- ・お手入れの際は、柔らかい布をご使用ください。
- ・製品へのキズを避けるため、金属ブラシ、たわし、みがき粉等の硬いものでこすらないでください。製品にキズが付くと、錆の原因となります。
- ・酸性またはアルカリ性の洗剤、ベンジン、シンナー、ガソリンなどの有機溶剤は、変色や腐食の原因となりますので使用しないでください。

●お手入れ回数目安

（1年あたりの回数）

	海岸地帯	工業地帯	市街地	田園地帯
スチール（塗装品）	1～4	1～3	1～2	1
ステンレス（素地）	10～12	8～10	8～10	4～6
アルミ（クリア塗装）	1～4	1～3	1	1

回数はあくまでも目安なので、汚れの状況に応じて清掃回数を増やしてください。

●ステンレス部品の注意事項

- ・ステンレスは、錆びない素材と考えられがちですが、絶対に錆びない素材ではありません。通常、塗装など表面処理をしない状態で用いられますので、清掃も頻繁に必要です。
- ・初期の錆については、ぬるま湯で薄めた中性洗剤を使用したのち、水洗いし、最後に乾いた布で水分を拭き取ってください。
- ・泥、ほこり、塩水、排気ガス中の有害成分、洗浄薬液、もらい錆の付着は、ステンレス自身の錆に進展しますので、早めの清掃が必要です。

●スチール塗装品の再塗装

再塗装時期は、塗料種類や環境により異なりますが、3～7年に1度が適当です。

■寒冷地における取り扱い

寒冷地においては、シャッターカーテン表面の凍結・着雪を取り除いてからご使用ください。凍結・着雪した状態で開閉すると、氷や雪の重みでシャッターが破損し思わぬケガをする場合があります。また、厳寒時にシャッターを開けた場合には、速やかに閉めてください。開けたままにすると、シャッターケース内部に入り込んだ氷・雪により、シャッターが巻かれたままの状態凍結する場合があります。凍結したままシャッターを閉めようとしたとき「シャッターが破損し急速降下へ至る」場合があるためです。シャッターが巻かれたままの状態凍結し動かない場合は、操作を止めて下記の文化シャッターサービス株式会社までご連絡ください。

■電池使用製品について

蓄電池、乾電池を使用している製品につきましては、電池の寿命が切れる前に交換してください。電池の寿命が切れた製品をお使いになると、製品が正常に動作せず事故につながるだけでなく、電池から発煙・発火する恐れがあります。電池交換時期や乾電池の種類等につきましては、各製品の取扱説明書をご覧ください。電池交換についてのお問い合わせは、下記の文化シャッターサービス株式会社までご連絡ください。

■商品履歴管理システム

「商品履歴管理システム」とは、お届けした製品一台に一つずつ割り当てた管理ナンバーにより、定期点検結果や修理結果などを一元的に管理するシステムです。管理ナンバーは、〈IDタグ〉というラベルの表面に印字されているので、定期点検や修理をご依頼の際は、この番号をお知らせください。〈IDタグ〉の貼付位置は、各製品の取扱説明書をご覧ください。

対象商品:電動ワイドシャッター、重畳シャッター、オーバースライディングドア、パネルシャッター、エアキーパー大開迅、ワイドスライダー、セレスクリーン、防煙たれ壁、高速・低振動グリルシャッター大静快

カタログの色は製品と多少異なる場合があります。製品改良のため予告なく仕様の変更をすることがあります。



BX

文化シャッター

大静快 だいせいかい

高速・低振動グリルシャッター

開閉時の音や振動を直上階に伝えたくないマンションの駐車場出入り口などに最適です。

本製品は末永く、安全・安心にお使いいただくため
定期点検契約とのセット販売製品です。

高速なのに静かで低振動、 さらに広い開口に対応するワイド設計で 快適なマンションライフをサポートします。

マンション等の集合住宅で問題になるのが、音や振動。

特に駐車場のシャッターの開閉音は、

静かな朝や夜は意外に気になるもの。

そこで生まれたのが大静快。

開閉音や振動を極力抑え、

住まう人がみんな快適に暮らせるように

各所に独自の技術が採用されています。

大静快は、いつでも住まう人に優しいシャッターです。

高速
高頻度

約 **10** m/分

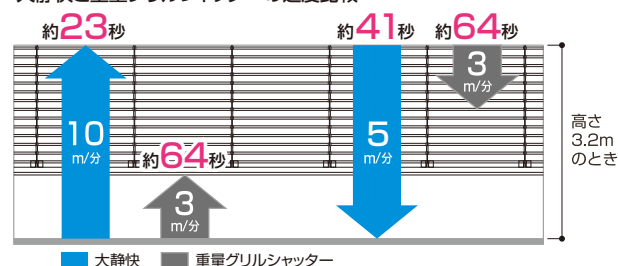
High speed

重量グリルシャッターに比べ、開スピードは約3.2倍速。

シャッター全開に要するスピードが速いので、出勤時や帰宅時の車庫出し・車庫入れがスムーズに行なえます。また1時間に約30回(最大値)の開閉に耐える高頻度、高耐久設計です。

※車両台数が多く、一日のシャッター開閉回数が多い場合(目安:車両台数80台以上)は、シャッターの早期損傷につながる可能性があります。その場合には車両の出入路を2箇所以上設け、各々のシャッターの開閉回数を少なくするようにご検討願います。また車両の出入路を2箇所以上設けることが困難な場合には、開閉タイマを使用してシャッターの利用が多い時間帯は常時開放するなど、開閉回数を少なくなることをご検討願います。

大静快と重量グリルシャッターの速度比較



大静快
H=3.2mの時
約23秒で全開
約41秒で全開

重量グリルシャッター
H=3.2mの時
約64秒で全開
約64秒で全開

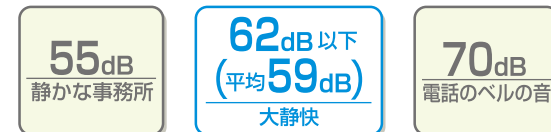
※開口高さ3.2mのときの上昇時、下降時のスピードを比べています。(シャッターの大きさ、設定等によりスピードは変わります)

静音開閉

62 dB

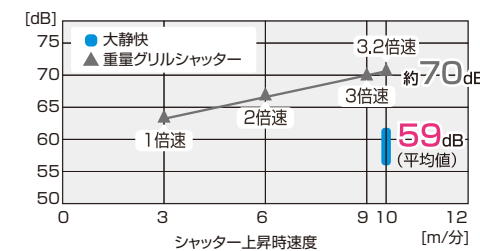
Low operation sound

シャッター開閉時の作動音は62dB以下。住まう人の心地よい睡眠、そして爽やかな目覚めのために、自動調芯機構をはじめ、多くの消音機構を取り入れました。(62dBとは普通の会話程度の音です。)



独自の消音機構により、開閉時の静音化を実現。

大静快と重量グリルシャッターの騒音レベル比較



※重量グリルシャッターの速度は通常1倍速ですが、それをインバータ制御(スロースタート、スローストップ)で3.2倍速にし、その騒音レベルをシミュレーションすると約70dBになります。大静快は3.2倍速でも平均59dBなので、その静かさが際立ちます。

低振動

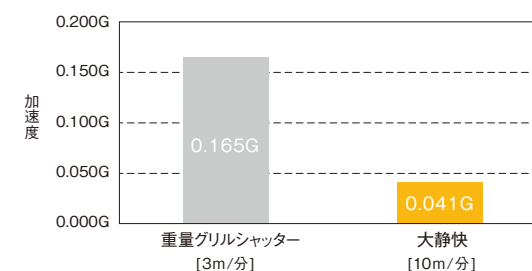
1/4

Vibration absorption

低振動開閉機、自動調芯機構や防振ゴム、開閉動作のインバータ制御により開閉時の建物に伝わる振動を当社重量グリルシャッターに比べ1/4に低減しました。(大型トラックが家の前を通過したときの振動が、乗用車程度の振動になった感覚です。)

※データは当社において振動の測定を行なったものです。建物構造やシャッターの大きさ等によって開閉振動は変わるため参考データとお考えください。

斬新な設計思想により、建物に伝わる振動を低減。



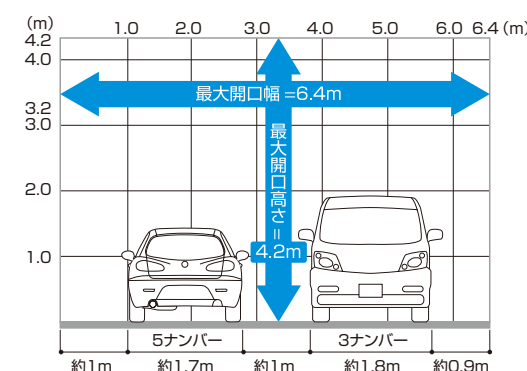
ワイドな開口

6.4 m

Wide space

幅は最大6.4m、高さは最大4.2mのワイド設計だから間口も広々。これならハイルーフ車や3ナンバー車の駐車場からの出し入れも、余裕の交互通行が可能です。

2台の車が余裕をもって交互通行できるワイド設計。



文化シャッターは取組んでいます。お客さまがいつまでも

文化シャッターはIDタグ(個別認識票)による品質維持・情報管理システム、定期点検契約による製品メンテナンス、ATSS(アットタイムサービスシステム)による緊急対応により、お客さまに「大静快」を安全 安心にご使用いただけるようサポートいたします。

定期点検契約

→P9

「大静快」を末永く安全 安心にお使いいただくためには、定期点検契約が必要です。詳細はP9をご覧ください。

定期点検契約のメリット



安全性

動作状態、消耗部品のチェックを実施し、故障の早期発見・早期処理で安全にご使用できます。



経済性

トラブルを未然に防ぐことで、突発的な事故に対する予想外の費用を軽減できます。



耐久性

故障の初期段階で処置することで、製品に大きなダメージを与えずに済みます。



迅速性

万一の故障も、定期点検契約の情報をもとにカスタマーエンジニアが365日迅速に対処します。

安全・安心・快適にお使いいただくために!

ビスシステム)による緊急対応により、お客さまに「大静快」を安全 安心にご使用いただけるようサポートいたします。

商品履歴管理システム IDタグ

「大静快」1台ごとにIDタグ(個別認識票)による品質維持・管理の情報管理システムを導入しています。トラブル発生時などIDタグの管理番号をお知らせいただくことで、迅速により適切な対応をすることができます。

メンテナンス状況
商品履歴の把握

緊急時の修理に
的確対応

部品等の不具合に
早期に的確判断

IDタグによる商品履歴管理システム

ATSS

アットタイムサービスシステム

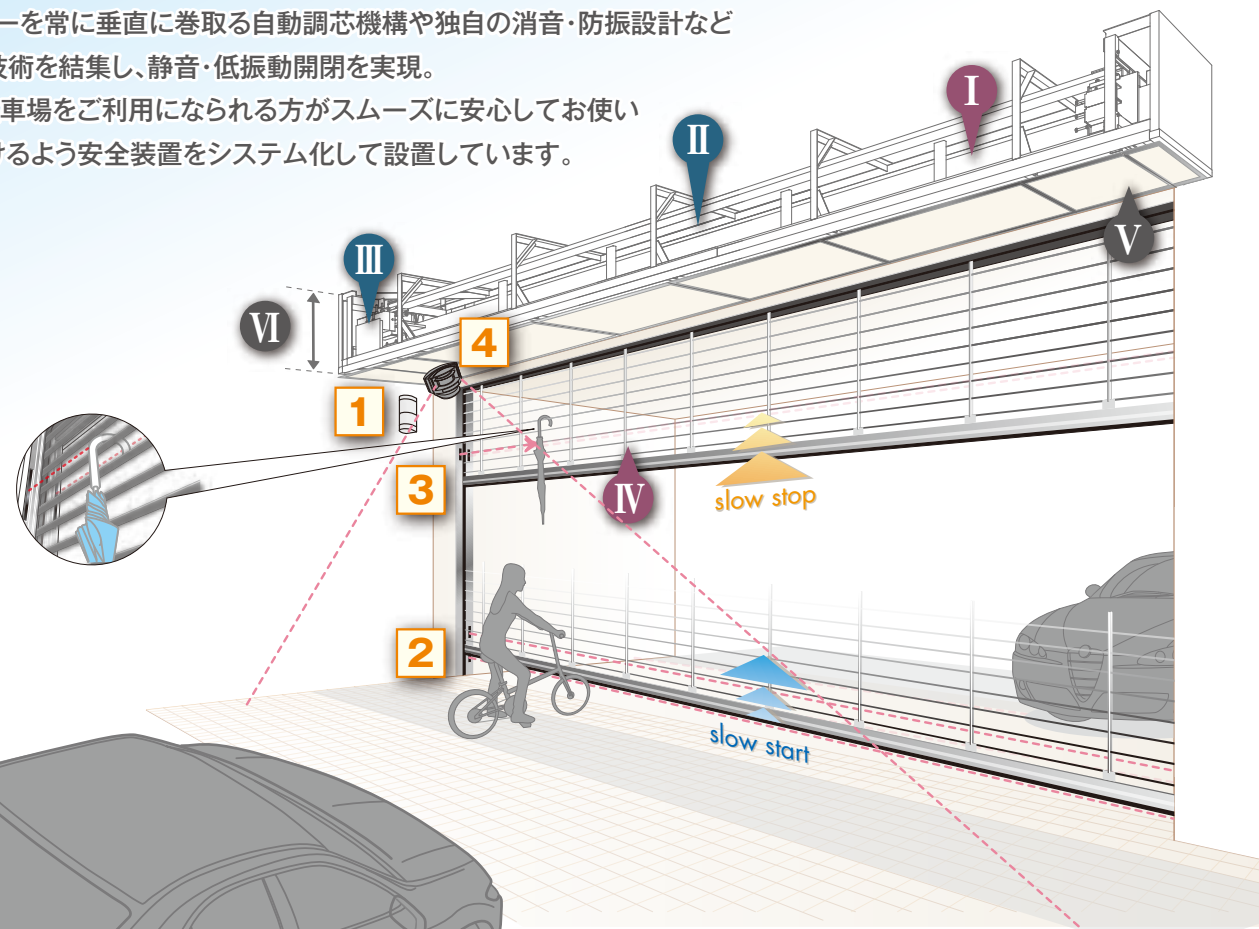
緊急の修理、突然のアクシデントそんな時は、文化シャッターサービス(株)のATSS=アットタイムサービスシステム

0120-365-113
にお電話ください。365日迅速に対応いたします。

BX

マンション駐車場向けシャッターに求められる さまざまな要求を、独自の新技术で クリアした大静快。

シャッターを常に垂直に巻取る自動調芯機構や独自の消音・防振設計など
先進の技術を結集し、静音・低振動開閉を実現。
さらに駐車場をご利用になられる方がスムーズに安心してお使い
いただけるよう安全装置をシステム化して設置しています。

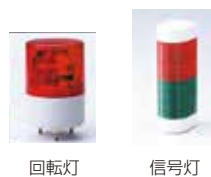


安全装置のシステム化

駐車場の状況に対応して障害物感知センサ、巻込み防止用センサや注意喚起装置を設置し、シャッターに接触したり挟まれるトラブルを未然に防ぐ安全装置をシステム化しています。
障害物感知装置設置については、5・6ページをご参照ください。

1 注意喚起装置

回転灯の光やブザーの音、信号
灯のランプや文字により注意を
喚起します。



2 障害物感知用光電管センサ※1 ※2

シャッター下降時に人や車が入りし
て、センサの光軸を遮ると、シャッター
は反転上昇し、上限で停止します。



3 巻込み防止用光電管センサ※1 ※2

シャッター上昇時にセンサの光軸を遮
ると停止する、巻込み防止センサです。



※1 強風時にシャッターのゆれやたわみによって光電管センサが感知し、停止または上昇することがあります。

4 レーザスキャナー※2

シャッター下降時に、感知範囲に人や
車が進入すると、シャッターは反転上
昇し、上限で停止します。



※2 光電管センサやレーザスキャナーには、雨や雪による誤感知を低減させる感知遅延タイムの設定があります。ただし、感知遅延タイムを設定すると、障害物感知後のシャッター停止距離が長くなります。

I 消音ベルト

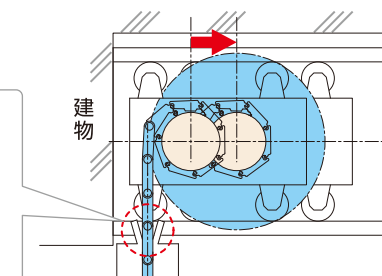
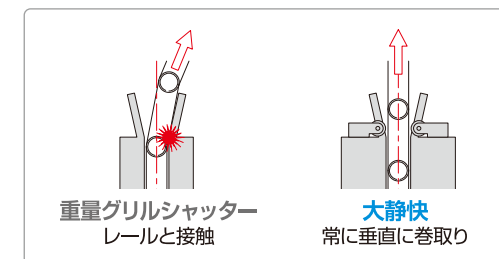


シャッターの巻取り時に発生する、リンク
部分の接触による不快な金属音の発生
を防いでいます。

II 自動調芯機構



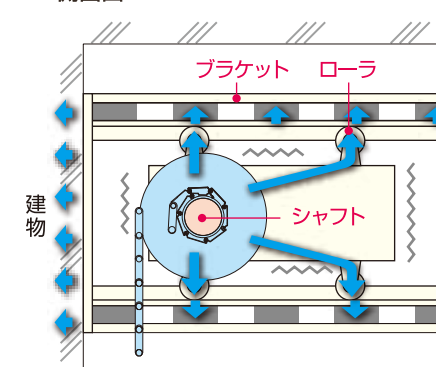
巻取りには、独自に開発した自動調芯機構を採用。これによりシャッターを常に垂直に
巻取ることができ、レールとの摩擦が最小限に抑えられ、低振動を可能にするだけでな
く、静音性にも優れています。



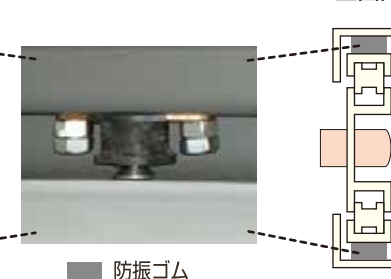
III 防振ゴム構造

シャフト・ローラ・ブラケット・建物
へと伝わるシャッター開閉時の振動
は、2重構造のブラケットと、それぞ
れの接合部に取り付けられた防振ゴム
の採用により大幅に低減しました。

側面図



正面図



BX

IV ステンレス化粧パイプ・消音樹脂付リンク



消音樹脂がステンレス化粧パイプと
芯パイプの間でおこる耳障りな振動
音を無くしています。



インバータ制御



シャッターの開閉はインバータ制御され、起動時は
スロースタート、停止時はスローストップに動作し
ます。これにより起動・停止時の振動を大幅に削減
しました。

V メンテナンス用天井パネル



メンテナンスや修理、その他工事
などをスピーディに行なうために、
天井部のパネルはすべて開くこと
ができます。

VI コンパクト設計

ボックスの高さは602mmのコンパクト設計です。
(天井内納まりの場合)

停電時の非常開放

オプションの非常電源装置ジェットパワー(JP-75E)
を設置することで、停電時でも蓄電池電源により一時
的に電動でシャッターを開けることができます。

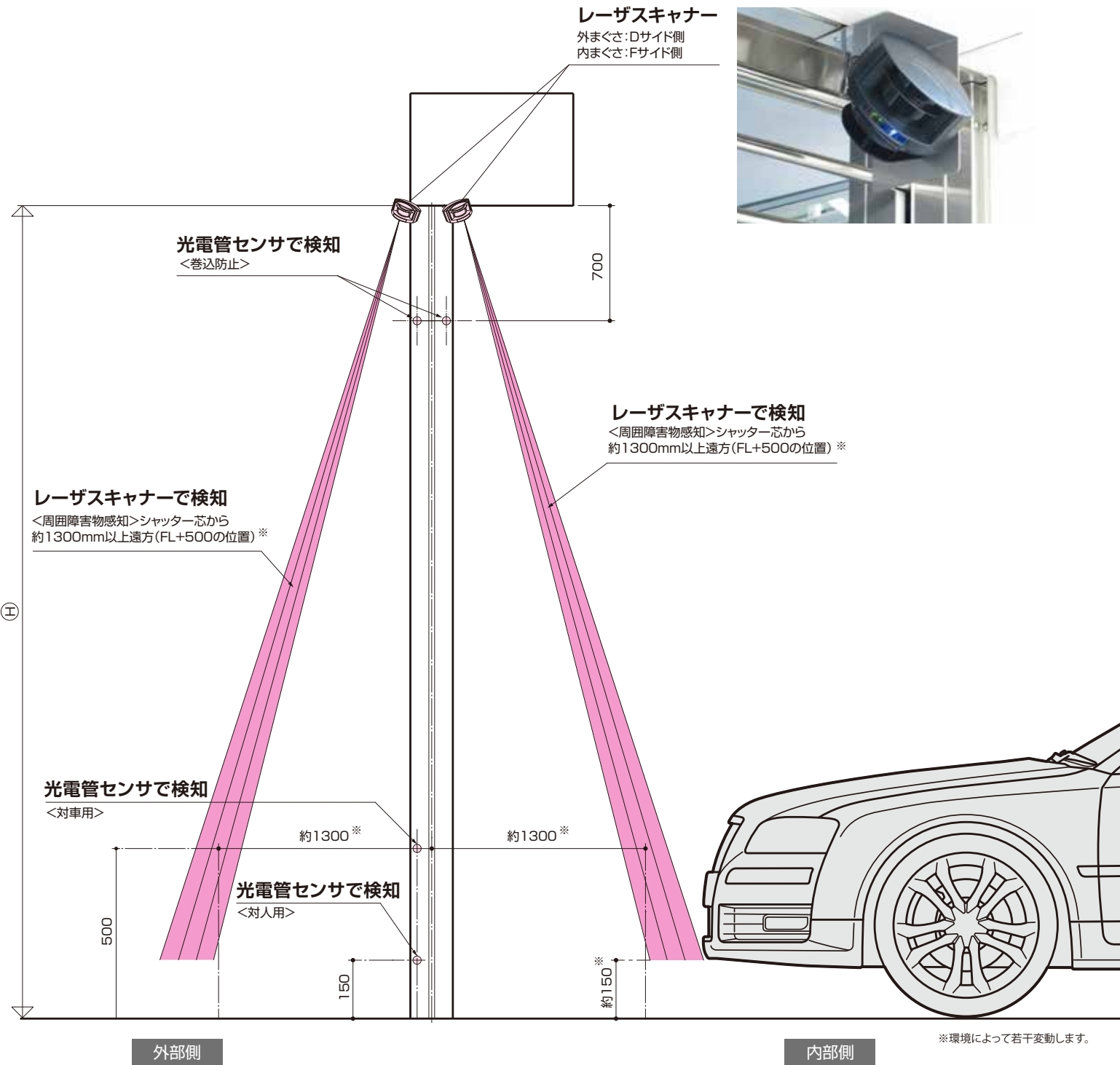
※停電時に手動ではシャッターを開けることはできません。

駐車場での万一のシャッター事故を未然に防ぐため、安全安心対策をシステム化しています。

多くの方が利用されるマンション等の駐車場では、車のスムーズな出し入れが求められ、またシャッターとの接触事故を未然に防ぐ対策が重要になります。そこで、車に乗ったままシャッターを離れた場所からリモコンで素早く操作でき、しかも人や車等の障害物を感知すると自動的に全開停止する機能が要求されます。当社では、駐車場のさまざまな状況や用途を考慮した安全安心システムの設置をしています。

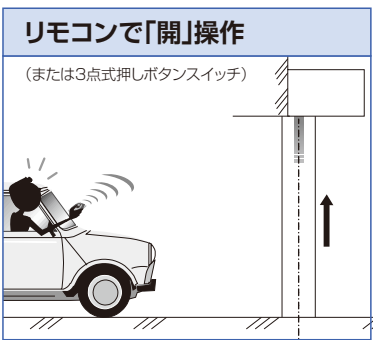
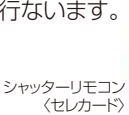
使用用途・設置環境により、オプションで障害物感知用光電管センサを追加することも可能です。

障害物感知設定【自動モード・手動モード共通】



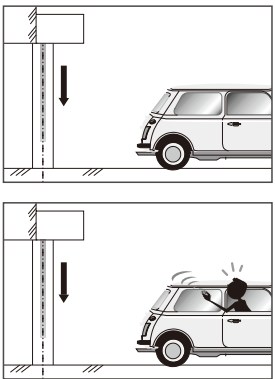
運転モード

運転モードには【自動モード】と【手動モード】があります。
 「開」操作は、いずれも車の中からリモコンで行ないます。
 その後、車が通過すると【自動モード】の場合はシャッターは自動的に閉まります。【手動モード】の場合は再びリモコンで「閉」操作を行ないます。



自動モード
 車が通過するとシャッターは自動的に降下し、全閉

手動モード
 通過後、リモコンで「閉」操作 (または3点式押しボタンスイッチ)



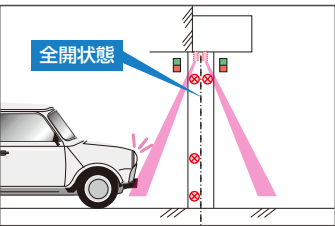
セレカードは電波の組み合わせは約1677万通り。他のリモコンによる誤動作もありません。1台のシャッターに最大256枚のセレカードを登録可能です。

障害物感知装置設置の動作パターン

自動モード

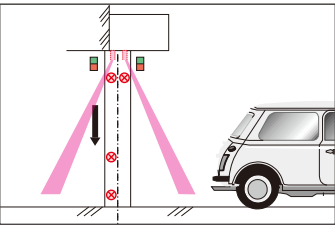
通過中

障害物を感知していると上限で停止します (全開状態)。



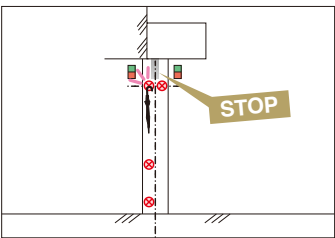
通過後

自動モードの場合は、障害物がなくなれば、設定された時間後にシャッターは自動的に降下し、全閉します。



巻込み防止用の光電管センサの働き

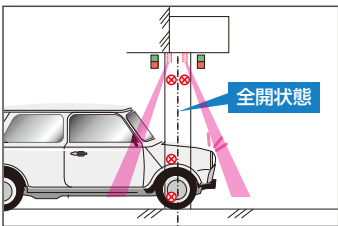
シャッターに引っ掛かった障害物を感知するとシャッターは停止し、巻込みを防止します。



手動モード

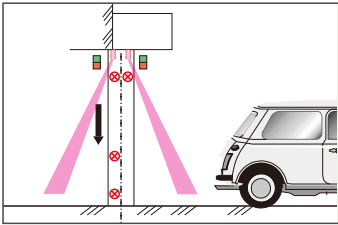
通過中

障害物を感知していると上限で停止します (全開状態)。



通過後

車の通過後、リモコン (または3点式押しボタンスイッチ) で「閉」操作します。



障害物感知についてのご注意

- ・障害物の形状や車両の種類、停止位置によっては光軸を遮らない場合があります。
- ・車両で光軸を遮っても、シャッターの降下位置や車両の進入スピードなどにより、シャッターと車両が接触してしまうことがあります。
- ・車両や障害物とシャッターが接触した際、シャッター重量により、シャッター本体や接触したものが損傷することがあります。
- ・安全装置を搭載しておりますが、あらゆる条件下で安全を保証するものではありません。

駐車場をご利用になれる皆さまへのお願い

ご注意ください

シャッターと人・車との接触事故を防ぐために

下記事項については厳守してください。

シャッターは全開して設定秒後に自動降下しますので全開停止後速やかに通過してください。

シャッター作動中は絶対に通過しないでください。

シャッター降下ライン

駐停車禁止範囲

シャッター降下ラインには絶対に駐停車しないでください。

次のようなことも 注意をお願いします！

- 開操作後、直ぐに通過しなかった場合にはシャッターが下り始める可能性があります。
- 特にバックで通過する場合はシャッターが見えにくいと思われます。
- 来客者が通過する際は、普段シャッターを使い慣れている方が誘導してください。
- 上記の様な場合は、お手数ですが再度操作してから通過してください。

製品仕様

標準装備

カーテン	化粧パイプ	ステンレス鋼管(標準仕様)φ19 ステンレス鋼管+クリア塗装(高防錆仕様)※1
	芯パイプ	：ステンレス鋼管
	リンク	：ステンレス鋼板
	座板	：ステンレス鋼板 クロロブレンゴム
	消音樹脂	：ポリアセタール
ブラケット	防振ゴム付き自動調芯機構、急降下停止装置(異常時安全用)	
まぐさ	溶融亜鉛めっき鋼板またはステンレス鋼板	
ガイドレール	アルミ押出形材	消音帯:硬質ポリエチレン
	ステンレス鋼板	消音帯:硬質ポリエチレン
ケース	角ケース：ステンレス鋼板または溶融亜鉛めっき鋼板 錆止塗装	
	天井納まり用ケース	上面、側面：溶融亜鉛めっき鋼板 (天井材仕様) 下面見切り縁：溶融亜鉛めっき鋼板またはステンレス鋼板
	天井納まり用ケース	上面、側面：溶融亜鉛めっき鋼板 (パネル仕様) 下面パネル：溶融亜鉛めっき鋼板またはステンレス鋼板
開閉機	EGVV-D40 電源電圧:3相200V±10% 周波数:50/60Hz 出力:400W	
制御盤	インバータ制御盤※2 動作カウンタ、非常停止ボタン、自動・手動モード切替ボタン	
起動スイッチ	制御盤盤面3点式押しボタンスイッチ(開、閉、停)	
障害物感知装置	レーザスキャナー、光電管センサ	
警報装置※3	回転灯	光源はガラス球式もしくはLED蓄積ユニット式 発光色は赤色もしくは緑色もしくは黄色ブザー付きタイプあり
	ブザー	カーテン上昇時と下降時にブザーが鳴動
	信号灯	青ランプと赤ランプによる表示もしくは文字表示(例「通過できます」「停止してください」)

※1 海岸地帯などの錆びやすい場所にはクリア塗装をおすすめします。
※2 インバータ駆動のため、シャッター動作時にラジオへ雑音が入る場合があります。
※3 自動モードでは警報装置を設置してください。

オプション

起動スイッチ	レーザスキャナー(障害物感知用と兼用)
	3点式リモコン(開、閉、停)
	3点式押しボタンスイッチ(開、閉、停)
非常電源装置	ジェットパワー(JP-75E)

設計耐用回数・年数

15年/30万回開閉

※「設計耐用回数・年数」は保証値ではありません。保証期間については「製品保証」を参照してください。
※「設計耐用回数・年数」はお客様による適切な維持・管理とお手入れを行ない、かつ専門技術者による定期的なメンテナンス(定期交換部品の交換、注油、調整など)を実施した場合の数値です。なお、沿岸部、温泉地帯、化学・薬品工場などの腐食性環境や、大気中の砂塵、煙などが商品に付着する場所、および高温、低温、多湿などの使用環境下では、記載数値を満足しないことがあります。
※「設計耐用回数/年数」を超えてご使用いただいた場合、専門技術者による点検でも発見できない劣化や摩耗が進行しており、機能低下や不慮の事故、製品の破損などにつながるおそれがありますので製品一式の交換をおすすめします。
※正常なご使用方法でも、ガイドレールとシャッターカーテン、またシャッターカーテン同士の接触部分では、磨耗、傷、音、サビなどが発生場合があります。

使用条件

周囲温度：-10℃～+40℃
周囲環境：粉塵、有毒ガス、結露、凍結のないこと
周囲湿度：85%RH以下

採用上のご注意

大静快をご採用頂く際には、本カタログ裏表紙に記載されている製品保証などに加えて、事前に下記のご注意事項もご確認ください。

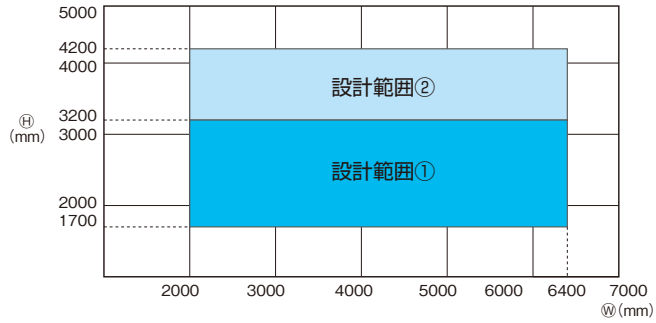
＜定期点検契約・長期修繕計画について＞

大静快は使用頻度(開閉回数)が高い場所に設置される場合には、定期的な点検、部品交換が必要です。定期点検契約とマンションに設定される場合は長期修繕計画への算入をお願いいたします。

＜耐風圧性能について＞

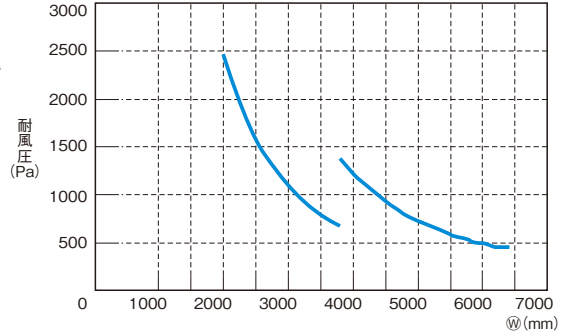
大静快のカーテンはグリル状のため、風が抜けていく構造ではありますがパイプ部分が風を受けることでカーテン全体がたわみます。そのため、耐風圧性能およびカーテンたわみ量を事前に確認のうえ、ご採用ください。また、台風や突風など瞬間的に風圧力がかかった場合は耐風圧性能値以下でも製品が破損することがあります。

設計範囲



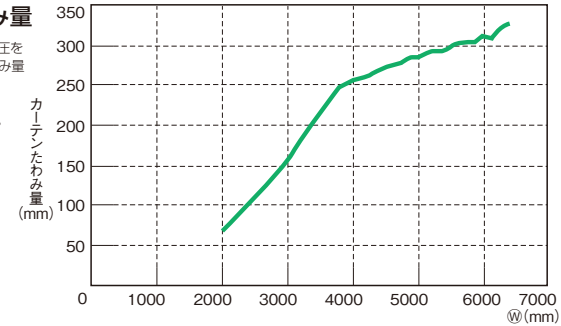
耐風圧性能

※グラフは計算値であり保証値ではありません。

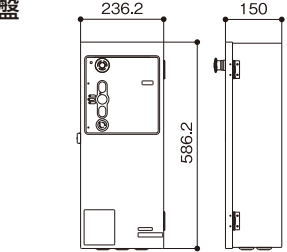


カーテンたわみ量

※耐風圧性能グラフの風圧を受けた場合の最大たわみ量です。グラフは計算値であり保証値ではありません。

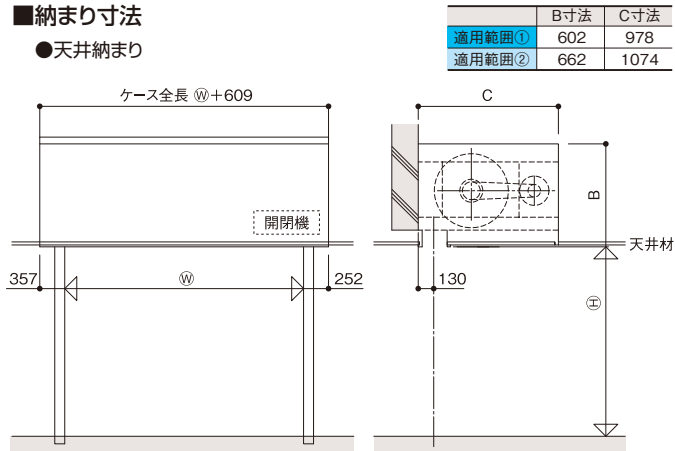


制御盤

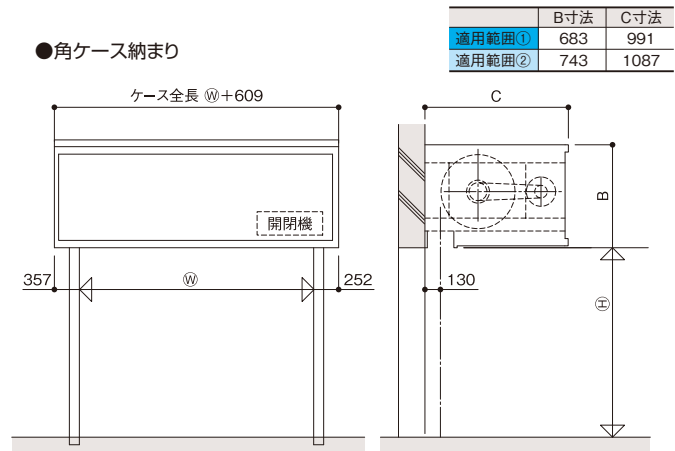


納まり寸法

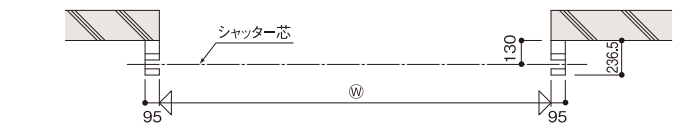
●天井納まり



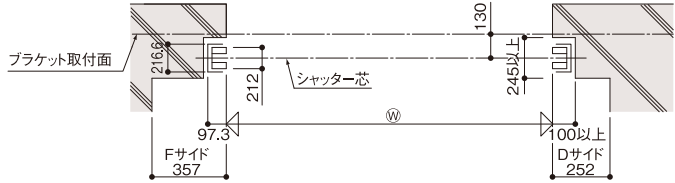
●角ケース納まり



●露出レール納まり

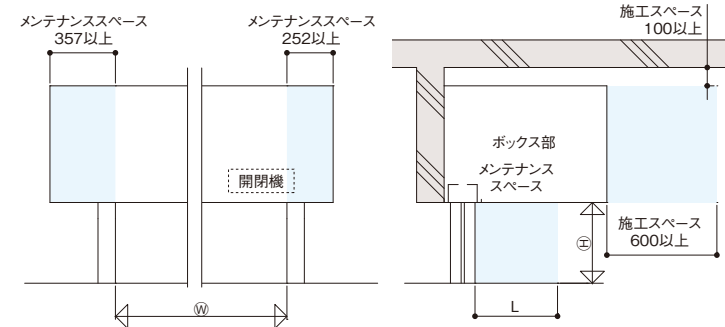


●埋込レール納まり



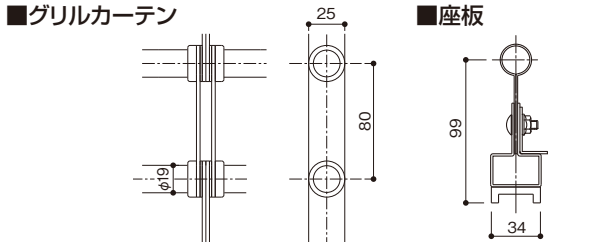
設計上の注意事項

※施工スペースはボックス取付けのため、メンテナンススペースはカーテン交換を行なうために必要なスペースです。必ず確保してください。

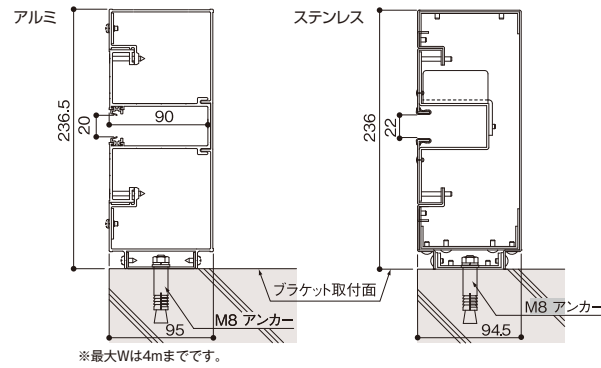


グリルカーテン

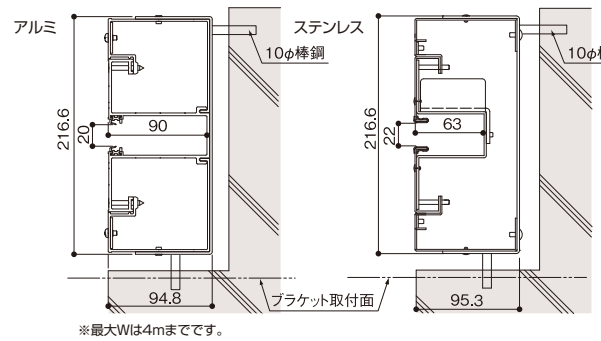
座板



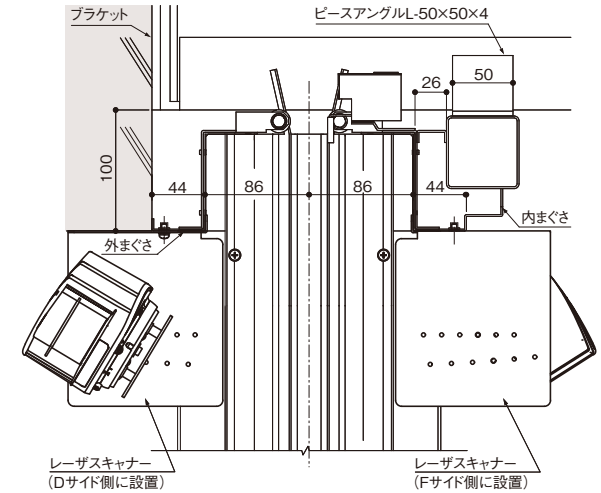
露出レール



埋込レール



まぐさ部詳細



H	1700～2200	2201～2700	2701～3200	3201～3700	3701～4200
	505	580	655	730	805
L寸法	357	252	357	252	357

単位 (mm)

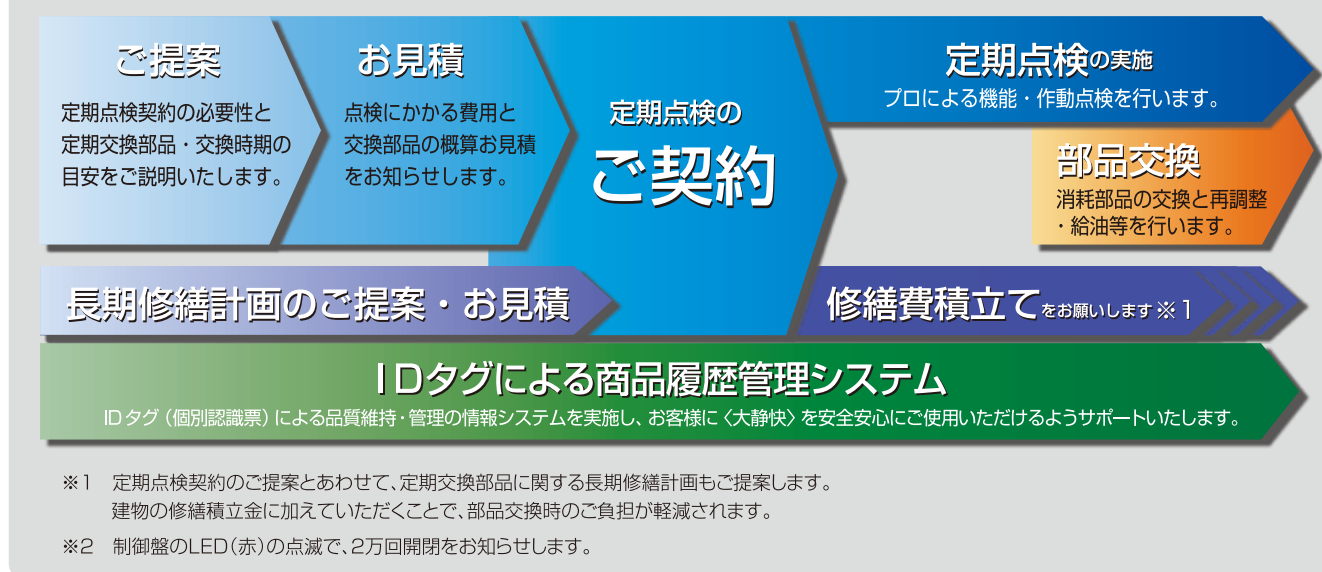
定期点検契約のお願い

高速・低振動グリルシャッター大静快は、高速開閉・高頻度開閉・高耐久性・安全設計（複数の障害物感知装置）といった特長をもった製品です。これらの機能・性能を維持し、**未永く安全安心にご使用いただくためには、有資格者による定期的な点検と部品の交換が不可欠です。**

定期点検について

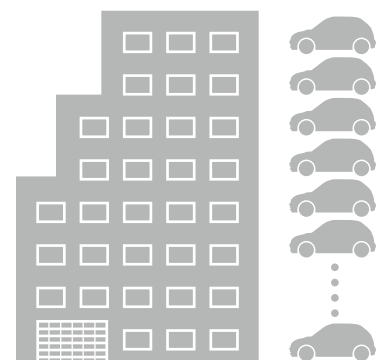
定期点検契約を結んでいただきますと、定期的に製品の機能・性能を維持するための診断を行います。その結果に基づき、必要に応じて整備を行います。定期点検をすることで不具合の発生時期をある程度予測することが可能となり、調整や部品交換等の処置を施すことで製品故障により開閉が出来なくなる事や、故障したまま使用を続けることにより他の部品にダメージを与えてしまうといった心配が軽減されます。

定期点検契約までのながれ



長期修繕計画のご提案

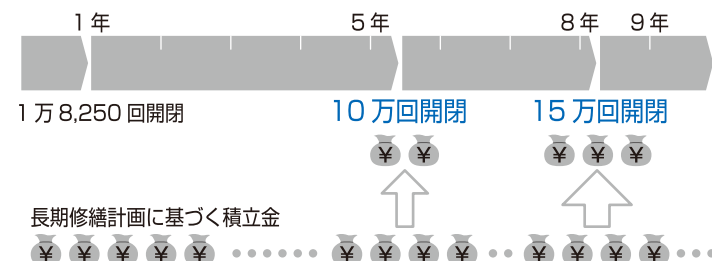
BX マンションの場合



住居戸数 : 60 戸
車の収容台数 : 40 台
リモコン枚数 : 40 枚

(例) BX マンションの場合（収容台数 40 台）1 日 / 50 回開閉

※開閉回数基準：1.2 回開閉 / 日 × 収容台数 1 台あたり（標準的な年間通過量をもとに算出）



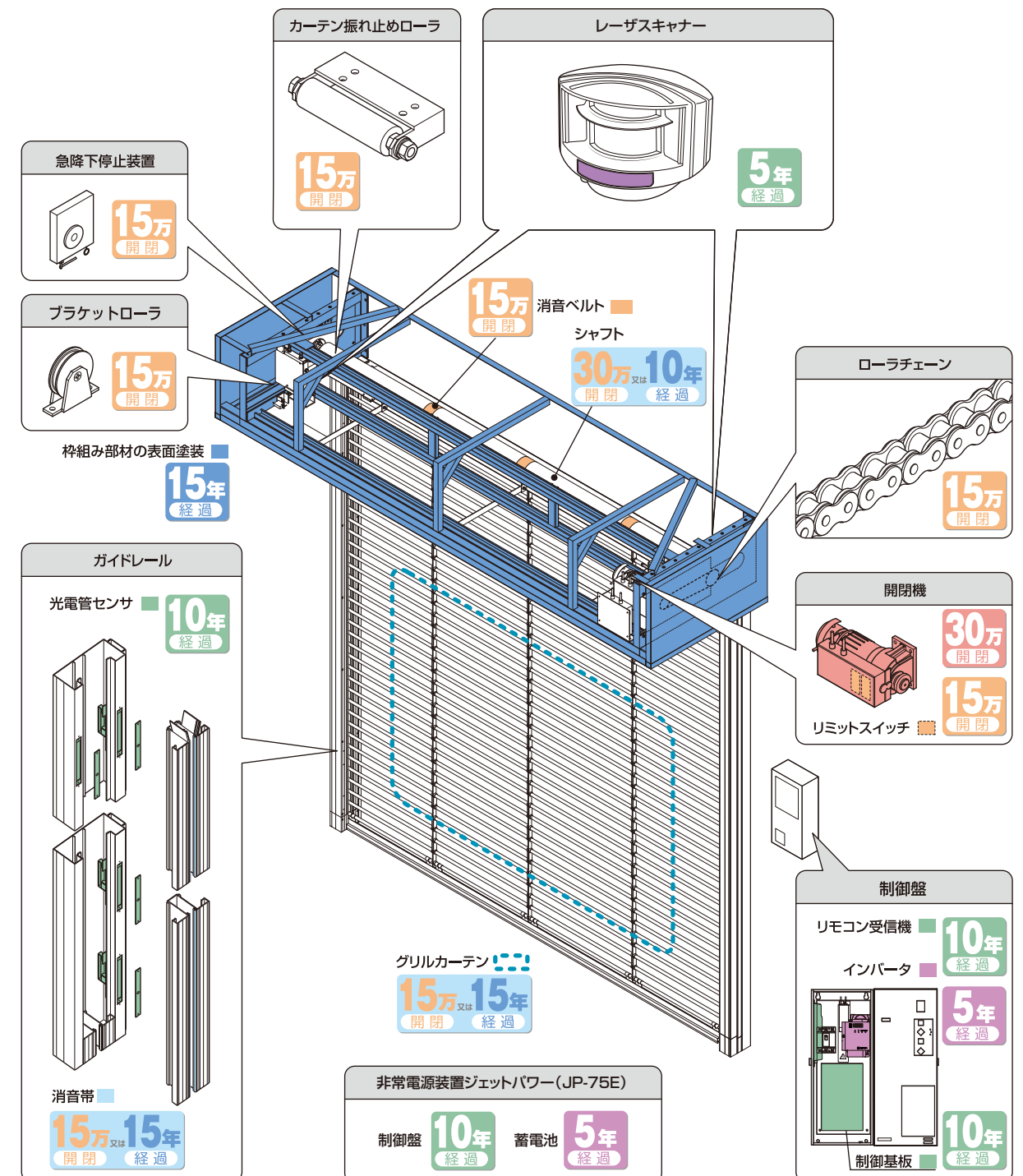
一般的な住宅用ガレージシャッターに比べ、約 20 倍の開閉回数が想定されます。未永く且つ安全にご使用いただくために、定期的な点検・部品交換が欠かせません。点検・部品交換費用に関しましては、マンションの長期修繕計画に織込んで頂き、計画的に積立て頂く事で急な出費をおさえることが出来ます。本製品の長期修繕計画に関しましては、弊社担当営業員よりご説明致します。

定期交換部品について

高速・低振動グリルシャッター大静快に使用されている部品には、表面上は正常に見えても経年劣化等により機能が低下するものもあります。以下の部品は動作安全上、特に保安部品として必ず交換が必要です。

交換部品と交換時期目安

※交換時期は定期点検契約に基づいた点検・整備が行われている場合の目安です。
※交換時期は目安であり、使用状態、使用環境によって大きく異なります。
※交換回数は、制御盤のカウンタでご確認ください。
※15 万回開閉の目安は、1 日 50 回開閉した場合に約 8 年経過後とお考えください。



BX